

再評価結果（平成19年度事業継続箇所）

担当課：道路局国道・防災課
担当課長名：木村昌司

事業名	一般国道 360号 種蔵・打保バイパス	事業区分	一般国道	事業主体	岐阜県										
起終点	自：岐阜県飛騨市宮川町巢之内 至：岐阜県飛騨市宮川町祢宜ヶ沢上			延長	7.6km										
事業概要	一般国道360号は富山県富山市を起点とし、飛騨市、白川村を經由して石川県小松市に至る総延長約90kmの補助幹線道路である。このうち岐阜県区間は、急峻な山岳地を通過するため、隘路区間も多く、異常気象時には通行規制されるなど、地域住民にとって生活上の不安要因となっている。種蔵打保バイパスは、隘路区間の解消や異常気象時の通行を可能とする道路である。また、併走する国道41号の道路機能の補完、代替機能、地域連携等を担う重要な役割を果たすバイパス道路である。														
H9年度事業化	都市計画決定なし	H10年度用地着手	H10年度工事着手												
全体事業費	185億円	事業進捗率	34%	供用済延長	2.0km										
計画交通量	1,200台/日														
費用対効果分析結果	B/C (事業全体) 1.5 (残事業) 2.4	総費用 (残事業)/(事業全体) 96/158億円 (事業費：88/150億円 維持管理費：8/8億円)	総便益 (残事業)/(事業全体) 226/240億円 (走行時間短縮便益：195/208億円 走行費用減少便益：10/11億円 交通事故減少便益：21/21億円)	基準年	平成18年										
感度分析の結果	交通量変動：B/C=1.4(交通量-10%) B/C=1.7(交通量+10%) 事業費変動：B/C=1.4(事業費+10%) B/C=1.6(事業費-10%) 事業期間：B/C=1.4(期間+2年) B/C=1.6(期間-2年)														
事業の効果等	・高山～富山IC・伏木富山港・富山空港間の所要時間が短縮され流通の利便性が向上する。 ・一般国道41号の代替路線としての機能、非常時におけるルート選択が広がる。 ・事前通行規制区間（雨量）、冬期交通障害区間を解消する。														
関係する地方公共団体等の意見	他13項目に該当														
事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等	平成16年10月の台風23号では、未改良区間で路側欠損等の被害を受け、住民約1,100人が一時孤立し、現在でも地域住民の生活に支障をきたしている。														
事業の進捗状況、残事業の内容等	現在までに2.0kmを部分供用しており、引き続き残る5.6kmの現道拡幅及びバイパス工事を進めている。														
事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等	平成16年10月の台風23号により宮川が氾濫し、路体そのものが流出するなどの被害を受けている。現在は、復旧作業も概ね完了しており、用地・工事の推進を図り、早期の供用を図る予定である。														
施設の構造や工法の変更等	自然を壊さないよう山の斜面を削ることを最小限に抑えるため、トンネルと橋梁を取り入れている。														
対応方針	事業継続														
対応方針決定の理由	以上の状況を勘案すれば、当初から事業の必要性、重要性は変わらないと考えられる。														
事業概要図	<div style="display: flex; align-items: flex-start;"> <table border="1" style="margin-right: 20px;"> <tr><th colspan="2">凡 例</th></tr> <tr><td style="width: 20px; height: 10px; background-color: #f08080;"></td><td>供用中</td></tr> <tr><td style="width: 20px; height: 10px; background-color: #0000ff;"></td><td>事業中</td></tr> <tr><td style="width: 20px; height: 10px; background-color: #cccccc;"></td><td>再評価箇所</td></tr> <tr><td style="width: 20px; height: 10px; background-color: #ff0000;"></td><td>うち供用中</td></tr> </table> </div>					凡 例			供用中		事業中		再評価箇所		うち供用中
凡 例															
	供用中														
	事業中														
	再評価箇所														
	うち供用中														

※ 総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したものの。